

三人よれば文殊の知恵 78人が集まれば・・・ ワークショップの書き込みから

参加された方々が悩んでいらっしゃるの、人、場所、資金に関わることでしたが、特に、多かったのは、人についての問題でした。これには、参加



参加者がマンネリ化している 若い人が来ない

男性参加者を増やしたい

高齢者を中心としても若者と子供をもっと入れる

他の地域とコラボしたい

上の事柄は、参加者の数や構成についての問題でしょうか？
「通いの場」の運営側についても様々な問題が指摘されています。

活動の継続には核となる人が何人か必用

会場準備、市への書類提出、いろんなん企画などの世話役が不足している

活動内容によっては、こんな悩みも。これも若い人が足りないという事でしょうか。

買い物支援について年齢的に無理になっている

★ さて、問題を解決するためのアイデアは？

参加費を低額に
設定する

ちなみに、「和太鼓 どっこいしょ」さんは、週1回で1回200円、「こみか元気くらぶ」さんは、同じく週1回で1回100円とのことでした。

元PTA役員がねらい目、こどもかいのOB会を結成

子供同士の繋がりから親同士の関係が結ばれるのよくなることですね。活用しない手はない！

ふれあい会食堂やみんなのダイナーへ出張相談会し接点づくり

世代を超えた共生社会の構築にもつながりそう。

やはり問題は、これか？！

する人についてのものと、運営の担い手についてのものがあるようです。



いつもの通りの熱心なワークショップ風景

(今後の継続的活動に向けての) ボランティアスタッフの確保・・・スタッフの高齢化を見据えて若いスタッフの確保が必要



こちらのテーブルでも熱心に

男性も意外と社会参加は興味ある

なかなかきっかけが無いのですよね。

繋がれて居ない人達を引きずり込む・・・リタイア男性、趣味やお酒の会に引っ張り出す

やはり、男は酒か？